

竜の子新聞

特別号

市政報告

発行 **あらき竜二**

倉敷市日吉町 476-4

TEL: 086-422-7747

FAX: 086-441-5377

✉ : info@ryu2.biz

http://www.ryu2.biz/

「ご挨拶」

倉敷市議会議員

あらき 竜二



毎年、発行させていただいている「竜の子新聞」ですが、今年第18号を迎えます。

毎回、市政報告と私の思いを書くという二本柱で発行してきましたが、今年はちよと内容が変わります。

息子と妻の企画です。息子も妻も必ずといっていいほど、ある質問を受けるそうです。

それは「あらきさんってどんな人？」それならばそれを新聞にしようかと企画してくれました。

ご寄稿ありがたくも、緊張しながら読ませていただきました。皆様にもご一読いただければ幸いです。



倉敷市長

伊東かおり

荒木竜二議員さんが、いつも市民の皆様のためにご尽力されておられますことに心より敬意を表します。

荒木議員さんは、お父様の俊二先生の薫陶を受けられ、平成二十一年に倉敷市議会議員に初当選以来、市議会各委員会の委員長等を歴任され、

現在は市議会最大大会派である、くらしき創生クラブの会長を務められるなど倉敷市議会活動を率先して引張っておられます。

この四年間はコロナ感染症の影響で、日常生活も経済活動も大変な時代となりましたが、荒木議員さんは

地元の万寿小学校区では、児童クラブ「亀の子」の運営委員長として、青少年を育てる会の責任者として、

またスポーツ分野でも少林寺拳法やハンドボール等を率先して応援され、酒津や倉敷みらい公園のホタルを守

る活動を力強く応援されるなど、幅広い分野で積極的に活動され、私に對しても地域の課題をいつもご教示下さるなど、より良いまちづくりに向けたご活動に感謝申し上げます。結びに来年が、荒木議員さんにとつてさらなる飛躍の年となりますように皆様の力強い応援を私からも心よりお願い申し上げます。



万寿地区コミュニティ

協議会

会長 森岡正明



私は役目柄、知人の方からよく質問されるのは、荒木竜二さんはどんな人？と聞かれます。

皆様方にご返事を致します。彼は温厚な人柄ですよ。又、地域においては、ファミリーとして、どなたにも接しています。彼は、常に心掛けている事は、日常生活こそが支援者の

皆様方を裏切らない行為でもあり、指針でもある事をモットーと位置付けて、日々を今日まで頑張つて働いて下さっています。市政でのお願いに相談に行つても、何人(なんびと)に對しても親身になつて臨機応変に一緒に考えていただき、相談者の要望に出来る限りの知恵を絞り、一生懸命に取り組んでくれています。それが市議会議員の仕事と言えます、そうかも分かりませんが、その枠を超えて、地域の方々に一生懸命で頑張つている姿勢を拝見する度に、頭が垂れます。綺麗事を何千回言つても一回の実行には勝つ事が出来ません。荒木竜二さんは、一回の実行の為に、努力して下さっています。我々同じ学区で生活している者は、こんなに心強い人物はいません。又、ファミリー同様で「竜ちゃん」と呼んでいます。やはり何を言うのにも気がねなく相談できる、これこそが彼が皆の心をひきつける才能です。彼に与えられている徳一杯の人生でしよう。そして何といつても家族の支えと支援者の多くの皆様方のご支援の賜物と、彼は事ある度に感謝の意を私に伝えていきます。今、年齢的にも油が乗り切っています。何事にも前向きに取り組む姿勢こそが市議会議員としてのビジョンだと思います。



中州学区地域安全
推進委員 瀧本保

皆さん、初めまして
私は中州学区地域安全推進委員をさ
せて頂いています。

子どもの安心安全の為、毎日ボラン
ティア活動をさせて頂いています。
さて、荒木竜二先生との出会いは十
年位前、中州小学校の正門でした。
強雨の度に校門が冠水し、学童が通
行出来なくなりその日も急ぎよ南門
北門から登校していました。当時の
班長が携帯で連絡を取り話しをして
いましたが、誰といるのかわか
りませんでした。10分もすると一
台の車が来て姿を現されたのが荒木
竜二さんでした。すぐ現場の写真を
撮り校長先生、前班長と話をしてい
ました。荒木市議の対応の早さに驚
きました。私はそれ以来、荒木市議
のファンとなり今日に至っています。
荒木市議は相談されればどんなに些
細なことでもすぐ行動され、返事を
されています。裏表のない人柄、
そして御夫婦の仲睦まじさは、横で
拝見していて、とても微笑ましく感
じています。
来年一月には倉敷市議会議員選挙が
あります。倉敷市政にとりまして、
絶対に必要な人材、居なくてはなら
ない人物です。
どうぞよろしくお願いいたします。

私も家族全員で応援しています。



万寿学区児童育成
クラブ(亀の子)
副運営委員長
瓜生 早苗

①仕事が早い。
頼んだらすぐに関係各所に電話して
聞いてくれます。「〇〇はどうなっ
たん?」「〇〇は××じゃねん?」と
いう感じで。(電話を受ける方は大
変だと思えますが。)後日きちんと
お返事を下さいます。
②いろんな生き物を子どもたちに見
せてやると児童クラブに持ってき
てくれます。(いつも子どもたちの
ことを気にかけてくれているので)
・生きたマムシ・・・瓶には入って
いませんが飼うことはできないので、
一日預かって「これは毒蛇だから気
をつけるようにと学習して持って帰
ってもらいました。」
・弱ったスズメバチ・・・これもあ
まり有り難くなかったんですが、危
ない蜂だと学習して持って帰っても
らいました。
・クサガメ(河原で猟犬が捕まえて
きたそうです)・・・児童クラブで
飼いました。
全体像は、気さくで話しやすい人で
す。思ったことはすぐに口から飛び
出してきますので、もう少し待って
から発言した方がいいのでは?と思

うこともしばしばありますが。総合的
にはとつてもいい人です。行動力があ
り、頼りにしています。



息子 荒木 宥人

いつも父が大変お世話になっており
ます。あらか竜二の息子 荒木宥人
です。息子の私にはよく聞かれる質問が
あります。「お父さんってどんな人?」
私の目から見ても、父はたまにびっく
りするような行動をとることがありま
す。しかし父は無自覚なのです。とは
言っても父は常識外れではなく、根は
真面目です。父の良いところは、性格
が明るいのです。よく笑い、堂々とし
て、体力があり、あきらめない信念
誰に対しても臆することがありません。
実はあまりにも堂々としているので、
後で聞いてみると、何も考えてなかつ
たということがあり息子ながら父には
かなわないなあと思います。また、体
力もあります。平成30年の豪雨災害で
は真備での前線基地を設営するために
一人でテントを張り、仲間を集め、ボ
ランティアセンターの運営に尽力しま
した。あの酷暑をものともしなかつた
父の体力と信念には頭が下がります。
ここから家族エピソードを紹介しま

一つ目は「なんでな攻撃」です。
真面目であり、一本気な面もあり、
それが良くも悪くもあるのですが、
周りの人を悩ませることがありま
す。質問をする、そして理解をす
るまで質問を繰り返します。わか
らないことは知ったかぶりをしな
い柔軟性はすごいのですが、こっ
ちが疲れてしまいます。

二つ目は「プロ野球入団テスト」
です。今もあらか家では語られる
エピソードの一つです。私が母の
お腹にいたころ、母は入院してい
て安静を言い渡されていたので
が、その母に「プロ野球読売巨人
軍の入団テスト」を受けるからと
報告したそうです。母は驚きのあ
まり何も言えず、一気に血圧が上
がり、ナースコールをしたそうで
す。その話を聞いた双方の両親か
ら、猛反対されるも「夢なんじ
ゃ」と試験を受けたそうですが、
結局は選ばれず、今にいたりませ
よっぽど腹にすえたのか母は今で
も時々この話を持ち出します。
常識ではおさまらない父の行動力
は、息子としては困惑することも
ありますが、市議会議員として信
念を持ち、夢を持つことの大切さ
を知っている、それを貫く体力や
気力もあります。
こんな父ですが、私と共に父を見
守っていただけなら幸いです。
今後ともよろしくお願いいたしま
す。